

『【脅迫NTR】夫の横領を盾にした、拒否権のない契約』

サンプル(一部抜粋)

「(耳元で)...決めるのはあなただ。」

「旦那さんと共に地獄に落ちるか。
それとも...僕に抱かれて、全てを『なかったこと』にするか。」

「旦那さんを救う為にどうすべきか...
聡明なあなたなら分かるはずですよ。」

「あくまで主人の為...？
...そうですか。まあ、今はそれでいいとしましょう。」

「...じゃあ、早速。
口を開いて。」

「嫌だと言いながら、旦那さんを救うために必死に僕を満足させようとしている。
...その矛盾が、たまらなくそそるんですよ」

「(下着を脱がせ)...奥さん。
こんなによだれをたらして...」

「旦那さんとは随分シてないんですか？」

「...一年以上レス...？
(優越感に浸った笑い)」

「...可哀想に。
あいつはこんなに魅力的な身体を放置して、裏で横領に手を染めていたわけだ。」

「...不憫なあなたを、僕がたっぷり可愛がってあげますよ」

(バイブ音、水音)

「クリトリスに優しく当てると
気持ちいいでしょう？」

「ほら、自分の手で押さえて。
...そう、離しちゃダメですよ。」

「僕とあいつ、どっちの方が良いですか？」

(数秒の沈黙)
「...答えられるまで僕は動きませんよ？」